

(案内) リブインピース@カフェ

## 若者を戦場に送る安倍戦争法を許すな

2015/09/06 (日) 13:30~ 16:30

西成区民センター (地下鉄岸里、天下茶屋駅下車)

安倍首相は戦争に巻き込まれる恐れは「絶対ない」、徴兵制の復活は「全くあり得ない」、専守防衛の変更は「いささかもない」などと根拠も示さず断定して質問を封じ込めています。

ますます国民の不安と不信はふくらみ、戦争法反対は今や8割に。折も折、自民党若手議員が、「戦争に行きたくない」と反対デモをする若者たちを「自己中心的」と批判しました。「戦争法とは誤解だ」といいながら、やっぱり若者を戦争に行かせようとしている、正真正銘の戦争法です！！

「後方支援」＝武器・弾薬の供給・輸送に核弾頭も排除しない、劣化ウラン弾やクラスター爆弾も「法的には可能」！！ 政府が平気で答弁していることを許せません。イラク戦争やアフガニスタン戦争で100万人以上をも殺害し、罪のない子どもたちを傷つけた兵器です。後方支援とは大量殺戮に直接加担することです。

アフガニスタンでは、米軍の「後方支援」を担ったドイツのISAF(国際治安支援部隊)の若者が50人以上亡くなっています。彼らも「復興支援だ」「人道援助だ」「安全だ」と言われて送り込まれ、戦争させられました。

イラク戦争での米兵の死者の大半は20代前半の若者。彼らも新兵勧誘員(リクルーター)にだまされて戦場に送り込まれ、戦死したのです。徴兵制などなくても、貧しい若者たちがいくらかでも米軍に入隊して来るので、彼らを戦場に送るのです。

日本も同じです。戦争法ができて真っ先に戦場に送られるのは10代や20代の若者に違いありません。若者たちを戦場に送りたくありません。殺したり殺させたりしたくありません。

カフェでは、戦争法で解禁しようとしている「後方支援」の危険や、ドイツISAF、イラクの治安維持活動の危険などを具体的に見ていきます。戦争法反対の声を広げ廃案に追い込むために、是非ご参加下さい。

リブ・イン・ピース☆9+25

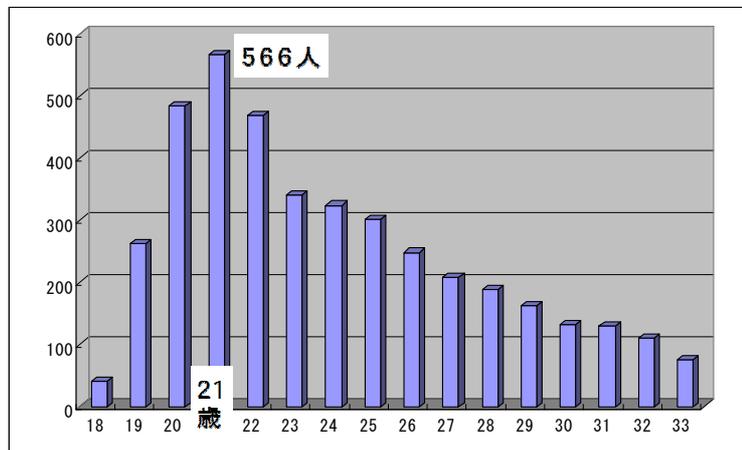
TEL 090-5094-9483 (事務局 大阪) E-mail [liveinpeace\\_heiwa@yahoo.co.jp](mailto:liveinpeace_heiwa@yahoo.co.jp)

<http://www.liveinpeace925.com/> [http://blog.goo.ne.jp/liveinpeace\\_925](http://blog.goo.ne.jp/liveinpeace_925)

## 若者を戦場にする安倍戦争法を許すな (シリーズビラその一)

◆安倍首相は、「徴兵制はない」「自衛隊はハイテク組織なので高度な技術を習得するには10年はかかる」などと国会でも答弁し、熟練した隊員だけが海外派兵されるかのようなイメージを振りまいています。しかしこれはウソです。

◆世界最強の米軍での米兵の死者の最多は21才。18才の米兵もいます。24才以下が戦死者の半分を占めます(イラク戦争)。米海兵隊では入隊から約半年で戦闘員に仕立てられ戦地に送られています。米軍と自衛隊とは違う?いえ同じです。若い米兵がやっていた燃料補給や武器弾薬輸送・供給といった役割を自衛隊員が担うのが「後方支援」です。



イラク戦争での米兵の死者数と年齢

◆米国には現在徴兵制はないし、必要ありません。「経済的徴兵制」といって、学費ローン抱え返済できなくなった卒業生や、医療保険や職がない若者を巧みに誘って軍隊に入れ、戦場に派遣していくのです。米兵は、戦争の加害者であり被害者です。



ナザン・パトリック・ブラウン (陸軍ニューヨーク州兵)

2004年4月11日死亡。享年21歳。イラク・サマラでパトロール中待ち伏せ攻撃に遭い死亡。



キース・マイケル・ウィリアムズ (第4歩兵旅団戦闘団)

2014年7月24日死亡。享年19歳。アフガニスタン・カンダハル州ミルゴール・カレイで運送車両で移動中に路肩爆弾の攻撃を受け死亡。

### リブインピース@カフェ 若者を戦場にする安倍戦争法を許すな

9月6日(日) 13:30~16:30

西成区民センター (地下鉄岸里、天下茶屋駅下車)

第一部 若者を戦場にする安倍戦争法を許すな

- ・ドイツ I S A F のビデオ視聴と紹介
- ・アフガニスタン戦争、イラク戦争の例から
- ・「後方支援」=武器・弾薬輸送・供給の危険ほか

